

# G-ルーティング クリニカルヒント

## — 強固な接着力を活かすために —

歯科用接着性レジンセメント「G-ルーティング」につきまして、既存のガラスイオノマー系セメントとの製品特性の違い（特に硬化特性に関する事項）に関するお問い合わせを多数いただきましたことから、2009年10月下旬に製品使用上の留意点につきまして追加情報をお知らせいたしました。

追加情報に対するご理解をさらに深めていただき、G-ルーティングを臨床でご活用いただくため、改めて「クリニカルヒント」をお届けしますので、是非ご参照くださいますようお願いいたします。



### Q フジルーティングS（ガラスイオノマー系セメント）と同じ操作方法で使用してよいですか？

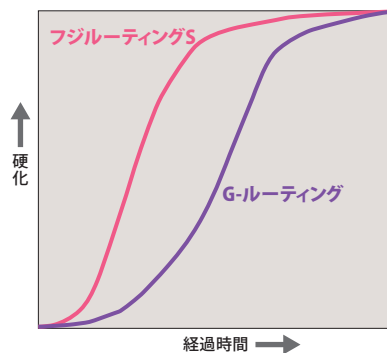
A G-ルーティング（レジンセメント）は、初期の硬化立ち上がりがゆるやかなので、余剰セメント除去後にワッテ等を噛ませた状態で4分間保持してください。

G-ルーティングは接着性モノマーとして、リン酸エステルモノマーを配合したレジンセメントです。このため従来のガラスイオノマー系のセメントと比較して高い物性を発揮します。

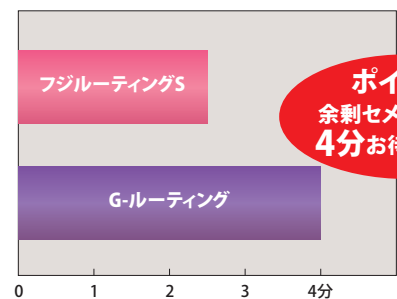
#### ● 曲げ強さ（24時間後）（MPa）



#### ● 補綴物内面、初期の硬化立ち上がり（イメージ図）



#### ● 余剰セメント除去後の口腔内保持時間



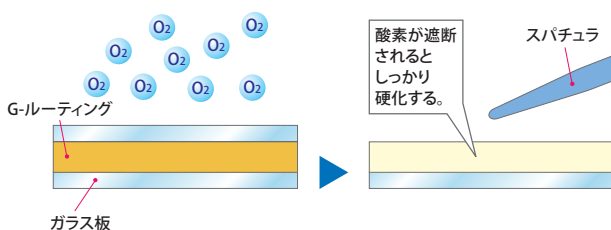
**ポイント!**  
余剰セメント除去後  
4分お待ちください

※ 接着完了後に支台歯形成やテックの製作を行う「コアの接着」の場合は、口腔内保持時間等が異なりますのでご注意ください（裏面参照）。

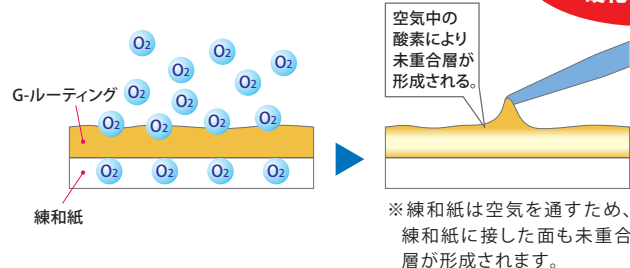
### Q 練和紙上に残ったセメントが硬化しないので不安を感じるのですが問題はありませんか？

A G-ルーティング（レジンセメント）は、酸素に接している部分は硬化しません。酸素が遮断される補綴物内部のセメントは口腔内保持時間経過後、しっかり硬化します（嫌気硬化性）ので問題ありません。

#### ● ガラス板で空気中の酸素を遮断すると



#### ● 空気中の酸素に触れていると



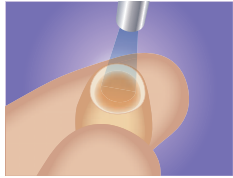
**ポイント!**  
酸素に触れている面は  
硬化しません

※ 練和紙は空気を通すため、練和紙に接した面も未重合層が形成されます。

裏面の「基本操作ステップ」と「コアの接着に用いる場合のステップ」もぜひご覧ください。

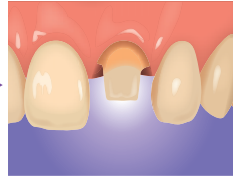
# G-ルーティングの基本操作ステップ(インレー・クラウン・ブリッジの場合)

補綴物の前処理



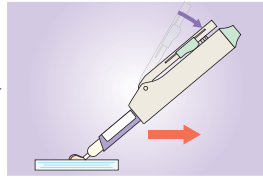
アルミナでサンドブラスト処理を行います。

窩洞・支台歯の清掃



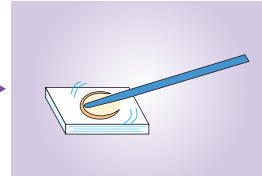
仮封材、仮着材等の除去を行い、水洗・乾燥させます。

計量



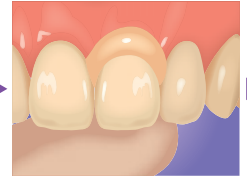
後ろに引きながらペーストを押し出します。

練和



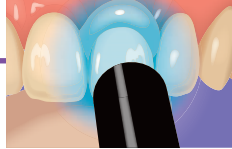
10秒間しっかりと練りこみます。

補綴物のセット



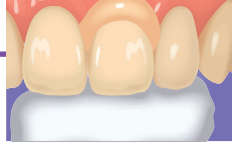
## 余剰セメントの硬化

### 光重合の場合



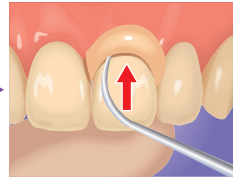
セット後すぐに照射(1~2秒)  
※補綴物を押さえながら照射します。

### 化学重合の場合



セット後1分30秒間保持  
※ワッテ等をかませて保持します。

## 余剰セメントの除去

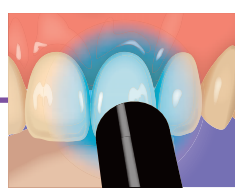


補綴物を押さえながら、装着方向に向けて余剰セメントを除去します。  
注) 余剰セメント除去後、セメントラインが露出している場合には照射\*を行います。

## 最終硬化

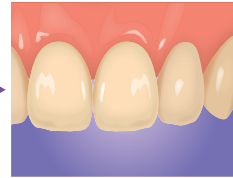


余剰セメントの除去後、ワッテ等をかませて4分間保持します。



光透過性の高い補綴物の場合は、照射\*での硬化も可能です。

## 接着完了



※患者さんへは、治療後30分は飲食を控えるようお伝えください。

## 補綴物セット後の硬化時間

照射	1~2秒	最終硬化 (4分)
余剰セメント除去	(30秒)	
補綴物を圧接した状態		

## ■余剰セメントを照射を行わずに除去する場合

余剰セメント硬化待ち	1分30秒	余剰セメント除去	30秒	最終硬化 (4分)
補綴物を圧接した状態				

### \*照射時間

ハロゲン、LED	各方向から10秒ずつ
キセノン	各方向から9秒(3秒×3回)ずつ

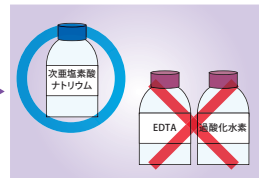
「G-ライトプリマ」の場合はF3モードで、照射時間はキセノンと同じ

# コアの接着に用いる場合の操作ステップ

根管壁の洗浄・乾燥



※超音波スケーラーを用いての洗浄を推奨します。



根管壁の洗浄に薬剤を使用する場合は、次亜塩素酸ナトリウム溶液をご使用ください。  
注) EDTA溶液や過酸化水素水は、硬化・接着阻害の要因となることから使用しないでください。

セメントの塗布



探針等を用いて根管内にセメントを充分満たすように塗布します。

メタルコアのセット



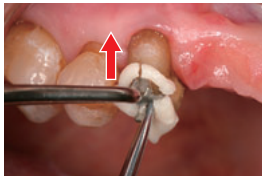
アルミナでサンドブラスト処理を行ったコアにもセメントを塗布して根管内にセットします。

照射による余剰セメントの硬化



メタルコアを押さえながら照射(1~2秒)を行います。

余剰セメントの除去



メタルコアを押さえながらコア装着方向に向けて余剰セメントを除去します。

マージン部への照射



余剰セメント除去後、コアの初期固定を安定させるため、マージン部に各方向から照射\*を行います。

最終硬化



マージン部への照射後、ワッテ等を噛ませた状態で10分間保持します。

支台歯形成



10分間保持した後、支台歯形成やテックの製作を行います。  
※患者さんへは、治療後30分は飲食を控えるようお伝えください。

コアの症例で残存歯質が少ない場合は、特にご注意ください。



### \*照射時間

ハロゲン、LED	各方向から10秒ずつ
キセノン	各方向から9秒(3秒×3回)ずつ

「G-ライトプリマ」の場合はF3モードで、照射時間はキセノンと同じ

ジーシー G-ルーティング  
管理医療機器 歯科接着用レジセメント  
221AKBZX00067000

※色調は印刷のため、現品と若干異なることがあります。 ※臨床写真は製品の性能を保证するものではありません。

ご使用に際しては、必ず製品の添付文書をお読みください。

## 株式会社 ジーシー

東京都板橋区蓮沼町76-1 〒174-8585

DIC (デンタルインフォメーションセンター)

お客様窓口 ☎ 0120-416480

受付時間9:00a.m.~5:00p.m. (土曜日、日曜日、祭日を除く)

http://www.gcdental.co.jp

### 支店

●東京(03)3813-5751 ●大阪(06)4790-7333

### 営業所

●北海道(011)729-2130 ●名古屋(052)757-5722

●東北(022)283-1751 ●九州(092)441-1286